

(別紙3)

認知症対応型サービス事業管理者研修 カリキュラム

【1日目 10月1日】

講義名(区分・時間)	目的	内容	講師
オリエンテーション 13:30～13:40(10分)	管理者研修の目的は、地域密着型サービス事業所の管理者として、統括的な管理・運営と支援のあり方について学び、実践ができるようになること。研修の全体スケジュールを説明し、加えて、研修の機会を主体的、積極的に情報交換・ネットワーク作りの場として活用することの意義を認識する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的、目標の明示 ・自己課題の設定 ・研修の機会を主体的、積極的に自己学習の場として活用する意義 	事務局
地域密着型サービス基準 13:40～15:10(講義90分)	住み慣れた地域で認知症の人が尊厳ある生活の継続を支えるために、身近な市町村を主体とする新しいサービス類型として創設された地域密着型サービスの意味と運営基準について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスの目的 ・地域密着型サービスの種類・特徴・運営基準 ・地域作り ・法令遵守・違反事例について ・運営基準等の質疑・応答 ・事業者に求められる防災対策(防災設備の概要等) 	行政担当者
介護従事者に対する労務管理 15:20～16:50(講義90分)	管理者として、人事・労務管理の重要性を学び、必要なノウハウ等を学び、日常業務全般について、労働基準法に基づいた労務管理について、事業所における勤務体制等の具体的な場面を通して、そのあり方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人事・労務管理の重要性 ・労働基準法に基づいた労務管理 ・宿直と夜勤について ・労働時間と休憩について ・労務管理に関する質疑・応答 	調整中
一日のレビュー 16:50～17:10(演習20分)	自己が設定した課題に沿って取組めたかを各自で振り返る。また他研修生との意見交換を行い、学びを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の取組みについての報告。 ・評価用紙の記入。 ・グループワークによる意見交換。 	

【2日目 10月2日】

教科名(区分・時間)	目的	内容	講師
地域密着型サービスの取組み 9:30～11:00(講義・演習90分)	認知症対応型・通所介護、共同生活介護、小規模多機能型居宅介護等の事業所からの実践報告を通じ、各事業のサービス提供のあり方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からの報告 ・現状と課題、展望 	調整中
適切なサービス提供のあり方 11:10～17:40(講義・演習330分) (60分昼休憩)	管理者として、地域密着型サービスとは何か、また介護保険上の基本方針の意味を理解することにより、それぞれの役割や連携について、日常生活の支援等の具体的な場面を通して、その方向性やめざしているものを学ぶ。 加えて、質を確保し向上させていくためには、どうすればいいか、現状及び今後の課題や目標を明らかにし、質の担保を推進していくために必要な統括的な管理運営のあり方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者の役割 ・業務管理 ・日常生活支援[ケアプランに沿った実践と記録] ・利用者の権利擁護 [尊厳・成年後見・身体拘束・虐待防止法等] ・リスクマネジメントの実際とその展開 ・サービス評価・情報公表制度等 ・人材育成の基本的な考え方とその方法 ・現状と課題と今後の展望 	調整中
1日のレビュー 17:40～18:00(演習20分)	自己が設定した課題に沿って取組めたかを各自で振り返る。また他研修生との意見交換を行い、学びを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の取組みについての報告 ・評価用紙の記入 ・グループワークによる意見交換 	